



英会話部 外務大臣賞受賞！

教育長に表敬訪問をしました

恵那高校英会話部は、昨年度「2022年度アートマイル国際協働学習プロジェクト」に参加し、クロアチア共和国との主体的・協働的な活動が評価され、外務大臣賞を受賞しました。4月24日(月)に英会話部の生徒と顧問の先生、校長、教頭で岐阜県庁を訪れ、教育長に報告をしました。



まず、部長さんから今回の活動について報告をしました。

恵那高校は毎年アートマイル国際共同学習プロジェクトに参加しています。

このプロジェクトでは日本と海外のパートナー校と一緒に SDGs のゴール2つほどの原因や解決策、さらに、自分たちができることを考えてお互いに交流をして意見を深めています。今回はゴール13とゴール5の気候変動とジェンダー平等について取り組みました。インターネット上のフォーラムでの対話的な交流や、zoom を利用して直接言葉を交わしてプレゼンや質問すること、また、SDGs のテーマだけでなくお互いの地域紹介や学校紹介、日常生活、桜が咲いた一などのことも主体的に交流できたことが評価されて外務大臣賞を受賞することになりました。

報告会は、終始和やかな雰囲気で行われながらも、活動に興味を持たれた教育長や教育次長から、海外の学生との交流の過程や活動を通して学んできたことなど、たくさんの質問がされ参加した生徒達がそれぞれに思いを伝えました。



以下英会話部生徒の感想です。

「立派な県庁に驚きました。堅苦しい雰囲気はなく手形で描いた木の意味や、布の素材などについても質問されました。自分達の活動を通して、国際問題の現状を学び、客観的・批判的な見方をすることで問題点や解決策をみつけられたことを自分の言葉で伝えることができ、とても良い経験になりました」

「テーマ学習から、クロアチアの高校生達と何度も意見を共有し合い、一つの物を作り上げた達成感がとても印象に残っています。交流を通して、私たちが思いつかなかった新しい考えや別の角度からの意見を知ることによって刺激を受けました。時には私たちと同じ考えを持っていることに嬉しさを感じる時もありました。また、国は違っても平等で調和のとれた幸せな世界を作りたいという思いは変わらないのだと感じました。お互いの国の思いが詰まったメッセージと壁画が世界中に発信され、人々がよりよい未来へと踏み出すきっかけになったら嬉しいです。」



「教育委員会の方々が、私たちの活動に興味を持って下さって嬉しく思いました。たくさんの質問に答えながら、自分たちの活動をふり返り、自分の考えも整理することができました。日頃自分たちだけで考えていることだけではなく海外の学校の生徒と交流することで、外からの視点に触れて改めて問題の深刻さや解決の必要性を感じることができました。環境問題にしても経済問題にしても、世界には区切り

りがあるものではないため、便利な日常の中で人任せにしたままではなく、自分たちの手で行うことができる方向に向かっていく必要があることの皆さんにも伝えたいです。」



壁画の裏面には恵那高生とクロアチアのフラニオブチャル高校の生徒の名前が書かれています